

# ぷらざ・朝日

2018  
December

VOL.31

PLAZA・ASAHI

発行日/2018年12月1日  
企画編集/広報委員会



当院は、(公財)日本医療機能評価機構の審査を受け、病院の機能、安全管理体制、療養環境などの面で、同機構が定める基準を達成していると評価され、6月1日付けで、「病院機能評価(3rdG:Ver.1.1)」の認定を受けました。今後も、質の向上に努め、皆様により良い医療を提供できるよう、職員一同、たゆまぬ努力を続けてまいります。

## CONTENT

病院長のご挨拶	2	新人看護師の声	5	トピック 看護の日 院外イベントに参加	6
副病院長就任のご挨拶	3	トピック 大橋宏重病院長が	6	看護部「病院見学会」を開催	6
新任紹介	3	Best Doctorsに選ばれました!!		シリーズ 健診センター便り8	7
頭頸部がんの治療について	4	医科歯科医療センターが歯と口の	6	シリーズ 医食同源No.16	7
		健康週間2018イベントを実施		診療医ご案内	8

## 病院長のご挨拶



病院長 大橋 宏重

皆様には、日頃より当院をご支援いただき、心より厚く御礼申し上げます。

私たちの病院は、「朝日大学歯学部附属村上記念病院」として、44年の長きにわたり地域の皆様に支えていただきました。このたび、朝日大学穂積キャンパス内の附属病院と村上記念病院の機能を統合し、2018年4月1日より、名称を「朝日大学病院」に変更させていただきました。日帰り手術までは「医科歯科医療センター」（旧附属病院）で行い、重症例の手術や入院が必要な患者さんについて当院で対応させていただくことになりました。

当院は、歯学部、保健医療学部、歯科衛生士専門学校を有する朝日大学の附属病院として皆様に育てていただいております。今後も、故村上治朗先生の高い理念を忘れることなく、教育機関として、地域の中核病院として、「すべての患者さんに、現在、受けることのできる最高の医療を提供する」ことを使命とし、「安全性を配慮した、質の高い医療の提供」、「救急医療への積極的な取り組み」、「総合健診センターでの予防医学の充実」を柱とした医療を今後も展開し、皆様に選ばれる病院となるべく活動していききたいと思います。

当院は、最新の診療技術と医療機器を用いた高度な診療を行うことはもちろんのこと、「疾病を診るだけでなく、病気をかかえている人を診る」という気持ちを忘れずに、疾病で悩み、苦しんでいる方に手を差し伸べ、身体だけでなく心のケアも忘れないような医療を目指しています。

現在、医療を取り巻く環境は厳しく、患者さんを中心としたチーム医療が求められています。患者さんの持つ回復力をサポートするのが医療者であり、患者さんと医療者が信頼し合い、足りないところをお互いに補っていくことが期待されています。そして、かかりつけ医の先生方と力を併せたチーム医療を展開していくなかで、ともに地域医療に貢献できればと思います。

当院に勤務する医師の83%が各種学会の専門医であり、多くの学会の研修・教育施設に認定されています。臓器を専門的に診るだけでなく人を診ることを忘れない医療を展開していくため、全身を診る医療が行えるようなシステムを作り上げていきたいと思っております。また、救急医療は医療の原点であり、当院が最も力を入れている領域です。当院に受診を希望する患者さん、救急隊から受け入れを要請された患者さんをすべて受け入れられるような取り組みを行っていききたいと思います。さらに、総合健診センターには多くの専門医を配置し、問診から結果説明、内視鏡検査まで担当しており、他病院と異なる当院の特徴といえます。

医療は激動の時代を迎え、技術革新が進む中、当院は社会からの期待に応えるべく、質の高い医の展開を目指しています。そして、より良い医療を提供できるよう、職員一同、たゆまぬ努力を続けていく所存です。

今後とも皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

### ■ 病院の理念

地域の中核病院として、安全で質の高い医療を提供し社会に貢献します。

### ■ 病院の方針

1. 患者さんの人格、権利、プライバシーを尊重し、患者さんの立場に立ったチーム医療を行います。
2. 患者さんのために医学的根拠にもとづいた医療を実践します。
3. 安全・高度・安心な医療を医科及び歯科が連携して行ないます。
4. 救急医療の充実に努めます。
5. 予防医学の推進により生活習慣病の予防に努めます。
6. 十分なインフォームドコンセントのうえ、医療を実践します。
7. 全人的な医療を行うため、全職員の力を結集します。
8. 思いやりの心と敬意を持って接します。
9. 地域における医療・福祉との連携を推進します。
10. 病院内外の医療・福祉関係者に対して教育・研修の場を提供します。
11. 全職員が誇りを持って働ける職場づくりに努めます。
12. これらのために健全な経営に努めます。

## 副病院長就任のご挨拶

泌尿器科教授 江原 英俊



2018年4月1日から朝日大学病院副病院長に就任いたしました。

当院は、この4月から名称を変更しましたとおり、地域の中核病院としてさらなる発展を目指しています。そのような中で副病院長の職を拝命したことは大変な重責と感じております。微力ながらも当院の発展に寄与できるよう努力する所存でございます。

当院が若宮町から現在の橋本町に移転した頃は、私は岐阜大学の学生でした。

当時は当院に泌尿器科がありませんでしたので、泌尿器科医を志した私に関わることがない病院と思っていました。それが、2001年から毎週金曜日に泌尿器科外来を担当させて頂くようになり、2009年7月1日に当院泌尿器科部長に赴任しました。それ以来、1人で泌尿器科診療に携わってまいりました。副病院長就任の話を受きましたときは、十分に職責を果たせられるのか大変悩みましたが、少しでも皆様のお役に立てられたらと、お引き受けすることとした次第です。

以前から当院の癌化学療法安全運用に携わっていましたが、さらに院内感染対策・医療機器の保守管理・病院広報を担当することとなりました。多くの職員と協力しながら、より良い病院にするために職務を全うしたいと考えております。他の4人の副病院長と共に大橋病院長を補佐して地域住民の皆様の少しでもお力になれますよう努力いたしますので、今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしく願い申し上げます。

消化器内科教授 八木 信明



2018年4月1日付けで朝日大学病院の副病院長を拝命いたしました。他の副病院長とともに大橋宏重病院長を支えて病院の運営管理に尽力したいと考えています。

私は、2014年4月に当院消化器内科教授に着任し、2015年4月には消化器内科診療部長として、消化器疾患を中心に診療・研究・教育に取り組んでまいりました。病院は、建物や診療器械等のハード面がいくら良くても、その内部で働くコメディカルや事務職員等のすべての職種の人々が力を合わせなければ、高度で安全な医療を提供することはできないと考えています。甲斐の国の武将武田信玄の言葉「人は城、人は石垣、人は堀、情けは味方、仇は敵なり」は、形としての城よりも、中にいる人間の重要性を説いていますが、まさしくそのとおりだと思います。この言葉は消化器内科診療部長としての座右の銘であり、今後の副病院長としての職務の基礎にしていきたいと思っています。

副病院長として私が管掌しますのは、地域連携、がん診療、医療倫理、人間ドックです。地域連携につきましては、地域の中核病院として責務を果たすことは最重要使命の一つであり、そのために、地域医療機関の皆様と連携し、岐阜医療圏の医療体制に貢献することを考えております。具体的には、今年から地域包括ケアシステムの推進を図るため、患者サポートセンターを新たに設置いたしました。これは、今まで病院内で別々に機能していたものをセンター化することで、地域の先生方との綿密な連携がよりスムーズとなり、患者さんの受け入れ、入院中のサポート、退院にかけての後方連携が一層充実するものと期待しています。また、がんの診断、手術、化学・放射線治療、緩和医療など総合的ながん治療体系を一層発展させるために、院内にがんセンターボードを立ち上げました。これまでも、それぞれの診療科の専門医師ががん診療に当たっていましたが、多数の診療科、看護師、薬剤師など病院全体が一つの大きなチームとして機能することで患者さんに的確で有効な治療方法を提供できると考えています。

地域住民の皆さま、ならびに医師会、歯科医師会の先生方や医療関係の皆さまに愛され、信頼される朝日大学病院を目指して、一所懸命、努力する所存です。今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしく願い申し上げます。

### 新任紹介



頭頸部外科  
耳鼻咽喉科  
教授

はせがわ やすひさ  
長谷川 泰久

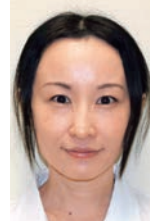
着任  
2018年4月1日



循環器内科  
准教授

たなか しんいちろう  
田中 新一郎

着任  
2018年4月1日



消化器内科  
講師

やすだ ゆりこ  
安田 由里子

着任  
2018年4月1日



整形外科  
医師

かわしま いたる  
川島 至

着任  
2018年4月1日



脳神経外科  
医師

やまだ たくみ  
山田 拓見

着任  
2018年4月1日



消化器内科  
医師

はやし さだなり  
林 完成

着任  
2018年10月1日



整形外科  
医師

あだち あきら  
足立 啓

着任  
2018年10月1日

本年4月より当院に頭頸部外科・耳鼻咽喉科が開設されました。一般に耳鼻咽喉科で扱う病気は、耳、鼻・副鼻腔、口腔、咽頭、喉頭、気管、食道、唾液腺・甲状腺など頭頸部領域の疾患やアレルギーなどで、その領域と病因は多岐にわたります。診療を担当します私 長谷川は、これまで長く頭頸部がんの診療に従事してまいりました。頭頸部がんが全がんに占める割合は少ないため、診断治療は十分に理解されていません。そこで、ここでは代表的な頭頸部がんである喉頭がんの治療をその変遷を含めて説明させていただきます。

頭頸部がん外科治療の歴史はTheodor Billrothによる喉頭がん治療に始まります。1873年に彼は喉頭部分切除を行いました。早期に再発をきたしました。2例目の術中に部分切除では腫瘍の制御が得られないことがわかり、一旦、覚醒させ患者の同意を得て全摘術を行いました。咽頭は一次縫合されずに瘻孔とされ、患者は2か月後に退院しました。本邦では明治21(1888)年に猪子止才之助が京都で初めて喉頭全摘術を行っています。

喉頭全摘術は原則として発声機能の喪失という結果になるわけですが、Billrothが喉頭全摘術を行った頃には、既に食道発声法が知られていたようです。喉頭全摘術が標準治療として確立されるとともにより良い発声を求めて音声再建術の工夫も始まりました。この分野での日本の耳鼻咽喉科医の功績は大です。音声再建として最も広く用いられていたのがTEシャントで、その代表術式が天津法とBlom-Singer法です。

喉頭癌に対する放射線治療はコバルト60による外部照射(遠隔照射)から始まりました。それ以前に初期の喉頭癌にラジウム組織内照射が行われていましたが、普及には至りませんでした。コバルト60はγ線エネルギーが低いものの、喉頭は体表面に近い治療が可能でした。本邦では国産の装置を用いた研究が1954年より癌研付属病院法放射線科で始まり、初期の喉頭癌において高い治療成績を示しました。

手術療法と放射線治療の確立により、早期喉頭がんは放射線治療、進行喉頭がんは喉頭全摘術±頸部郭清術という治療法のすみわけが行われてきました。

1991年の進行喉頭がんを対象とした手術療法と化学放射線療法の無作為比較試験が転換点となり、進行がんの治療は、機能形態温存と同時化学照射療法の方向に向けられました。この薬物療法は中下咽頭癌へ広がり、さらに分子標

的剤を含む新たなプロトコールにつながります。そして、外科治療は経口的切除による低侵襲治療へと新たな展開を示しました。

この喉頭がんでの治療法の変遷は、中下咽頭癌に対する経口的咽頭切除術と頭頸部がんに対する免疫チェックポイント阻害剤などの最新の治療に進展しました。

経口的咽頭切除術ですが、狭域帯光観察(NBI)などの内視鏡技術の発達により咽頭の表在性病変が検出可能となり、経口的内視鏡切除法の適応が広がってきました。機能温存の観点からは放射線治療も選択肢の一つですが、この領域の病変は多発するため、経口的切除術が良い治療手段です。方法にはELPS(Endoscopic Laryngo-pharyngeal Surgery)とTOVS(Transoral Videolaryngoscopic Surgery)があります。大きな違いは、ELPSでは上部消化管内視鏡を使用し、TOVSでは腹腔鏡手術に用いられる硬性ビデオスコープを使用することです。さらにダヴィンチを用いたTORS(Transoral Robotic Surgery)がありますが、日本ではまだ保険収載されていません。

免疫チェックポイント阻害剤ですが、頭頸部がんに対して承認されているのは今のところPD-1抗体ニボルマブです。ニボルマブはT細胞のPD-1に結合することで、がん細胞のPD-L1とPD-L2による免疫抑制シグナルをブロックし、T細胞が活性化された状態を維持し、癌細胞への攻撃力を保ち続けます。

これまでの免疫療法だけでなく癌治療を大きく変えると期待される薬剤が、2017年「再発または遠隔転移を有する頭頸部癌」に対して保険適用となりました。有害事象はすべての薬剤で起こりうる間質性肺炎や抗体薬で発生するinfusion reaction(アナフィラキシー反応など)があります。

また免疫療法では免疫系が正常細胞を攻撃するirAE(免疫関連有害事象)がこれまでの薬物療法にはない副作用です。これまでのがん治療は、手術療法、放射線療法及び化学療法の3本柱でしたが、新たに免疫療法が加わりました。

個別化医療を低侵襲で行うことが今後の医療の方向性です。頭頸部がんの治療においても、経口的切除により機能を温存した低侵襲治療に加え、ニボルマブのようにコンパニオン診断により薬剤に対する患者個人の反応性を治療前に検査するプレジジョン医療が開発されつつあります。



7階北病棟 坂下 奈美 (朝日大学保健医療学部看護学科 第1期卒業生)

4月に新人看護師として入社し、3カ月が過ぎました。私は、腎臓内科、循環器内科、呼吸器内科、内分泌・糖尿病内科の混合病棟である7階北病棟に勤務しています。

さまざまな病期や疾患を持つ患者さんがみえ、急性期に対応する看護実践能力と慢性期の患者さんを見る能力が必要だと感じています。まだわからないことも多く戸惑うこともあり、勉強が足りないと感じています。毎日が緊張と不安の連続ですが、患者さんからの「ありがとう」という言葉を支えに、また、先輩方からの指導のもと日々たくさんのことを学び頑張っています。

私が看護師を目指すようになったのは、高校生の頃です。病気で祖母を亡くし、その時に接してくれた看護師さんに憧れて看護師を目指しました。祖母の入院中に、心細い思いをした時、いつも一番近くで私たち家族に温かい言葉をかけてくれました。また、祖母は全く話せない状態だったのに、丁寧に言葉をかけている姿を見て、「こんな看護師になりたい。」と、強く思ったのを今でも鮮明に覚えています。

そして高校卒業後、看護師になるという夢を叶えるために、朝日大学保健医療学部看護学科に入学し、4年間、看護の勉強に励みました。3年次に当病院での実習に参加し、初めて臨床

の場を経験しました。緊張と不安でいっぱいでしたが、自分の夢に確実に近づいていることを実感しました。その中で、看護師が、皆、患者さんに対して笑顔で優しく接していて、誰からも信頼されている姿を見ました。その時に、私は、この病院で看護師として働きたいと思い、当病院を志望しました。

職場では、悩んでいることや困っていることに対して、親身に相談に乗ってくださり、アドバイスを受けることができる環境があります。また、新人である私のことをいつも気にかけて、成長を見守ってくださっているので、もっと成長していきたいと思えます。まだ勉強が足りず、できることは今も少ないですが、先輩方に指導していただき、入社した頃と比べると少しずつ成長できていると感じることもあります。また、仕事以外でも、とても話しやすい雰囲気、オンとオフがしっかりと分けていて働きやすい職場です。

この3か月間でうれしかったのは、患者さんが望んでいるケアができたとき、患者さんの笑顔を見ることができたときです。「看護師になって良かったな。」とやりがいを感じることが出来ます。

一方で大変なことは、業務や病気等について覚えなければならぬことが多く、日々の業務についていくことで精いっぱいであることです。焦りを感じることもありますが、確実に、一つ一つ、的確な知識と技術を身に付けていきたいと思えます。



血液浄化センター 高橋 美佳 (朝日大学保健医療学部看護学科 第1期卒業生)

今年3月に朝日大学保健医療学部看護学科を卒業し、4月から朝日大学病院の血液浄化センターに配属されました。笑顔が溢れ、医師、看護師、臨床工学技師の他職種チームで声を掛け合いながら助け合う雰囲気の中で仕事をしています。プリセプター、先輩看護師の指導のもと「看護とは何か」を考えながら、充実した毎日を送っています。

私は、学生時代の臨床実習で血液浄化センターにお世話になったことがありました。そのときは、透析治療での看護師の主な役割は、透析機器を操作することだけだと思っていました。しかし、入社してすぐに、それは違うと気付きました。

透析治療の対象は慢性疾患であり、一度、治療を始めたら、患者さんは、一生、治療を続けることとなります。医師の指示を守るだけでなく、患者さんが普段の生活で食事や体重、服薬等の自己管理を行っていかねばなりません。透析治療が終了した後、何ごともなく帰られる方もいれば、しばらく疲れてしまい横になっている方もいらっしゃいます。私は、透析治療を受けていただいた患者さんには、元気になって帰ってほしいと思っています。良い治療を受けていただいて、QOLを高めることが、

透析看護には一番重要な役割だと思えます。

そのためには、患者さんの生活背景や価値観を知り1人ひとり状況にあった対応が必要だと思えます。個別性の看護を行うには、まずは患者さん、ご家族さんとの信頼関係を築くことが必要だと感じています。長く透析治療を受けていると、治療の疲れで心を閉ざしてしまう方もいます。私はある患者さんから「突っ立ってないでテキパキ動けや。気が利かんな。」ときつい言葉をいわれました。最初は恐いという感情がありましたが、その方の言葉の裏にどんな背景、感情があるのかなと考えて、コミュニケーションを図っていくうちに、その方に「君には話すからね…」と、心を開いてくださることがありました。信頼関係を築くためには、相手を理解するコミュニケーションを図ることが重要であると、改めて気付くことができました。

まだまだ分からないことばかりですが、私は、分からないことがあれば、どんどん調べ、自分の知識にしていくことが強みなので、その姿勢を忘れず、前進していきたいと思えます。院内で患者さんやご家族さんとすれ違う時には、笑顔であいさつを交わし、温かい気持ちで接することを心掛けています。職員全員で明るくアットホームな環境づくりに努めています。また、患者さんやご家族さん、スタッフの皆さん方に信頼していただけるよう、一日も早く、根拠と自信を持ち、良い看護を提供できるよう頑張りたいです。

## 大橋宏重病院長が Best Doctors に選ばれました !!

大橋宏重病院長(専門:腎臓内科)が、医師に最も信頼される医師  
“Best Doctors in Japan™2018-2019”に選出されました。

Best Doctors in Japan™とは  
アメリカのベストドクターズ社により、  
日本では2002年から実施されてい  
る制度です。前回の調査でBest  
Doctors in Japanに選ばれた医  
師が「自身又は家族の治療を誰に委  
ねるか」という観点で推薦・評価を行  
い、選出されます。

事務部管理課(秘書室) 谷口 綾菜



## 朝日大学医科歯科医療センターが 歯と口の健康週間 2018 イベントを実施

朝日大学医科歯科医療センターでは、毎年、「歯と口の健康週  
間」に、瑞穂市にある本センターと朝日大学病院において、患者さ  
んや一般の方に対する歯の健康相談や歯磨き指導、歯の健康週間  
にちなんだパネル・ポスターの展示などの取組みを行っています。

「歯と口の健康週間」は、歯と口の健康に関する正しい知識を国  
民に対して普及、啓発するとともに、歯科疾患の予防に関する適切  
な習慣の定着を図り、併せてその早期発見及び早期治療を徹底す  
ることにより、歯の寿命を延ばし、国民の健康の保持増進に寄与す  
ることを目的として、厚生労働省、文部科学省及び日本歯科医師会  
等が実施する事業です。

その趣旨に賛同し、本年度は「大きな口で大きな幸せ」をテーマ  
に、6月4日(月)から8日(金)まで、本館1階受付ホールに特別ブ  
ースを設け、多くの方々のご参加をいただきました。

今後も、朝日大学医科歯科医療センターは、朝日大学歯学部



所属する医療機関として、  
朝日大学病院と連携し、地  
域の皆様から信頼される歯  
料医療を提供することを最  
優先として、日々、努力して  
まいります。

朝日大学 学事部医科歯科医療センター事務課 課長 古泉 尚

## 看護の日 院外イベントに参加

フローレンス・ナイチンゲールの誕生日である5月12日は「看護  
の日」に制定されています。また、この日を含む1週間を「看護週間」  
とし、厚生労働省や文部科学省、日本看護協会等の主催により、  
「看護の心をみんなの心に」をメインテーマとし、全国で様々な活動  
が行われています。

当院では、5月8日(火)から5月11日(金)までの4日間、ポ  
スター掲示、体成分測定、健康相談、脳卒中予防、ハンドマッサージ、  
AED体験等による啓発活動を行いました。

5月8日(火)には、柳ヶ瀬わくわく広場でこれらを実施し、約250  
名の市民の皆様にご来場いただきました。健康相談では食生活で  
の注意点に熱心に耳を傾けられ、「脂肪が多かったから、気をつけ  
なきゃ」等の感想が多く聞かれました。

近年は、人生100年と言われていますが、平均寿命と健康寿命  
の間には、男性で約9年、女性で約13年もの差があります。誰も  
が、最後まで健康でいきいきとした生活を送りたいと思っ  
ています。2025年は、団魂の世代が75歳以上となり、国民の3人に1人が  
65歳以上、5人に1人が75歳以上になります。まだまだ  
先のことだと思っておりましたが、7年後に迫っています。皆さんに、日々の生活に  
気を付けて、少しでも健康寿命を伸ばしていただきた  
いと願っています。



看護部 看護師長 野々村 徳恵

## 看護部「病院見学会」を開催

6月9日(土)に、看護部主催  
の「病院見学会」を開催しまし  
た。前回は3月に開催し、15名  
の看護学生等の参加をいた  
だきましたが、今回は25名と、こ  
れまでで最多の参加者数とな  
りました。

2019年度の採用希望者を  
対象として開催しましたが、朝  
日大学の保健医療学部看護  
学科から卒業生が輩出されはじ  
めたこと等が参加者増に繋が  
ったと考えられます。その一方  
で、他の大学・専門学校からも  
参加いただき、看護師の確保が  
しやすくなったことは、喜ばし  
い状況です。

意見交換会では、就職後の心  
配ごとや勤務状況などについて  
質問がありましたが、当院が働  
きやすい職場であり、良好な  
人間関係であると先輩から説  
明を受け、見学会に参加され  
た皆さんは、大変、安心され  
たようでした。

見学会を終えて、いよいよ採用試験が始まります。



看護部 副看護部長 服部 久代

4月より、消化器内科 大洞昭博教授が、4代目の当センター長に就任いたしました。

これまで12年間に渡ってセンター長を務めた小島孝雄教授は、スーパーバイザーとして、引き続き、内視鏡検査や読影、事後指導等の業務を担当します。

ここで検査内容の変更や新しいオプション等について、ご紹介したいと思います。

**バリウム透視** 鎮痙剤の注射を中止後も、診断能の低下はなく、不快感も減ったと好評です。

**内視鏡検査** 最新の経鼻内視鏡を3本追加導入しました。経口内視鏡と変わらない鮮明な画質による検査が可能です。

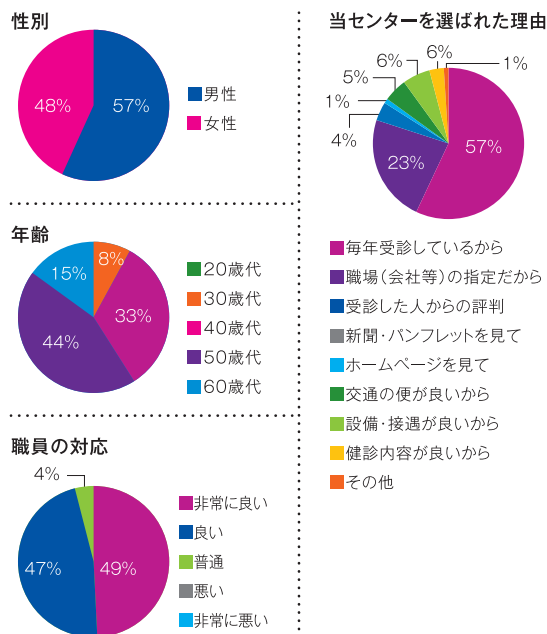
**ピロリ菌の検査** 感染診断に有効な抗体検査(血液)と除菌成否の確認ができる便中抗原検査の2種類をご用意しています。

**乳癌検診** 視触診が死亡率の低下に有効でないため、原則、マンモグラフィのみでの検診となりました。乳癌検診のみの受診も可能となり、マンモグラフィに乳房超音波検査を加えた「乳癌検診Bコース」が新設されました。

**脳ドック** 頭部MRI検査のみの「脳ドックAコース」と頭部MRI検査に長谷川式認知症検査と頸動脈エコー検査を加えた「脳ドックBコース」が選べるようになりました。

次に2017年7月に皆様のご協力をいただき実施しましたアンケート調査の結果をご紹介します。

職員の対応については高評価をいただきました。引き続き、受診者の皆様が安心して、健診を受けていただけるよう、スタッフ一同、努めてまいります。



シリーズ 医食同源 NO.16 手軽なエネルギーコントロール食 管理栄養士 高橋 貞子

生活習慣病によりエネルギー量を控えたい方のお食事を紹介します。野菜を多く使用して噛む回数を増やした献立です。

ころころ野菜とマグロの手巻き(切って盛るだけ)

<材料 1人分> (160kcal、塩分1g)

- |        |     |        |     |
|--------|-----|--------|-----|
| マグロ    | 60g | 青シソ    | 2g  |
| しょうゆ   | 3g  | きゅうり   | 30g |
| みりん    | 1g  | みょうが   | 10g |
| おろしわさび | 少量  | そばつゆ   | 3g  |
| 納豆     | 20g | おろしわさび | 少量  |
| 長芋     | 40g | 手巻き用のり | 5枚  |

作り方

1. マグロを角切りにして下味をつける。
2. 納豆は下味をつけ、長芋、きゅうりも角切りにする。
3. みょうがは荒みじん、青シソは繊切りにして、彩り良く盛る。
4. 食べるときに全体を混ぜ合わせ、のりで巻いていただく。



切り干し大根のもずく和え(噛む回数が増えます)

<材料 1人分> (26kcal、塩分0.2g)

- |          |     |          |     |
|----------|-----|----------|-----|
| 切り干し大根   | 8g  | オクラ      | 10g |
| もずく(味つけ) | 20g | 塩、白ごま、砂糖 | 少量  |

作り方

1. 切り干し大根は水で戻し、さっとゆでる。
2. オクラも色良くゆでる。
3. 味付けもずくは汁ごと使って和える。

チンゲン菜の春雨スープ(野菜がしっかりとれるスープ)

<材料 1人分> (96kcal、塩分1.5g)

- |       |     |        |    |
|-------|-----|--------|----|
| チンゲン菜 | 30g | ごま油    | 少量 |
| しょうが  | 3g  | 鶏がらだし  | 1g |
| 春雨    | 7g  | しょうゆ   | 2g |
| 豚ひき肉  | 20g | 塩、こしょう | 少々 |
| 人参    | 10g |        |    |

作り方

1. チンゲン菜はざくざく切り、人参は線切りにする。
2. 春雨は湯でもどし、豚ひき肉はごま油で炒める。
3. スープをつくり、野菜と豚ひき肉を入れ、味を調える。
4. 器に盛り、お好みで糸とうがらしをのせる。

診療科		月	火	水	木	金	土
消化器内科	初診	安田(由)	八木	大洞	尾松	黒部	担当医
	予約診	小島	大洞	小島	中畑	安田(剛)	—
	予約診	八木	黒部	尾松	北江 (非常勤)	福田	—
循環器内科		瀬川	藤井 (非常勤)	瀬川	瀬川/伏屋	次田	土井 (心臓血管外科) (月1回不定期)
		田中(新) 田中(隆)(午後)	伏屋	田中(新)	渡辺 (非常勤2・4週)	瀬川	担当医
腎臓内科		大橋(宏)	大野	大橋(宏)	操	大野	大橋(宏)
総合内科		大橋(宏)	大野	大橋(宏)	操	大野	大橋(宏)
糖尿病・内分泌内科		佐々木	武田	梶浦	杉本	杉本	武田
		杉本/梶浦	杉本	佐々木	佐々木/梶浦	武田	佐々木
呼吸器内科		豊吉	舟口	柳瀬 (非常勤)	舟口	豊吉	豊吉
外科		久米	市川	久米	太和田	太和田	担当医
		操	—	—	—	市川	—
乳腺外科	1診	川口	名和	川口	名和	川口 (2・4週目)	担当医 (予約診のみ)
	2診	—	川口	名和	川口	名和	
脳神経外科		石澤	郭	岡	石澤	担当医	郭
		岡	安田(祥)	加納	安田(祥)	—	加納/山田
整形外科	初診	日下・河合	川島(至)	塚田・山賀	青芝	前田	担当医
	予約診	—	塚田	前田	河合	大友	—
	予約診	青芝	今泉	日下	川島(至)	日下 中島(午後)	今泉 (第1週)
	予約診	—	—	—	塚原	今泉	塚原 (第2週)
眼科	1診	野村 (非常勤)	小池 (非常勤)	奥村 (非常勤)	—	奥村 (非常勤)	—
	2診	—	矢田	矢田	矢田	矢田	—
泌尿器科		江原	土屋 (非常勤)	江原	江原	江原	—
婦人科	1診	藤本	川島(英) (嘱託医)	川島(英) (嘱託医)	藤本	藤本	藤本 (不定期)
	2診	川島(英) (嘱託医)	藤本 (不定期)	—	川島(英) (嘱託医)	川島(英) (嘱託医)	—
放射線治療科		田中(修)	—	田中(修)	田中(修)	田中(修)	—
頭頸部外科		長谷川	長谷川	非常勤	長谷川	長谷川	—
歯科・口腔外科	初診	村松 長縄/大橋	本橋・高橋 大橋(静)	中島/長縄 山岡	齋藤・高橋 大橋(静)	岡本・本橋 大橋(静)	担当医

ご案内 ●診療受付時間は、全科8:00～11:30、ただし、初診の方は、11:00で受付終了。(救急・急患の場合は、この限りではありません。)  
●年度変わりの時期や学会出張により、診療医が変更することがありますので、予め確認が必要である方は、お電話でお尋ねください。

 **朝日大学病院** [病院機能評価認定病院] [人間ドック・健診機能評価施設]

〒500-8523 岐阜市橋本町3丁目23番地 TEL:058-253-8001(代) FAX:058-253-5165(総合受付)  
ホームページアドレス <http://www.murakami.asahi-u.ac.jp>